



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 生駒 祐健  
幹事 渡邊 國和  
SAA 峯口 馨  
会報小委員長 嵐 繁雄

◎例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ◎事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9  
◎例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内  
TEL0246 - 62 - 3737

第 2552 回 例会 平成 26 年 5 月 21 日 (水・雨)

2013~2014 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト  
ボックス情報システム(株)

井坂 裕樹 様

## 会員卓話

鈴木 孝一 会員

### ◎会長報告 - 生駒祐健会長

皆さん、今日は。まず最初に 5 月 17 日に国際ロータリー第 2530 地区 2014 - 2015 年度の地区研修協議会が開催されました。多数の会員の皆様のご出席を戴き終日勉強をして参りました。ご協力を戴いた会員の皆様大変ご苦勞様でした。また、今週の週末にも第 19 回日本青少年交換研究会福島会議があります。出席される会員の方は大変ご苦勞様ですが宜しくお願いします。さて、本日のお客様ですが昨年から本年度にかけていろいろとお世話になりましたボックスの情報システム(株)井坂裕樹様です。後程ご紹介とご挨拶を戴きたいと思ひます。なお、本日の会員卓話は(株)クレハの鈴木孝一会員ですのでどうぞ宜しくお願い致します。私からは以上です。

### ◎幹事報告 - 渡邊國和幹事

・来週の例会は早朝例会になっております。やまたまやさんと 7 時から行います。その前に社会奉仕委員会の活動として 6 時 20 分から植田駅前清掃を行いたいと思ひます。参加される会員はクラブのジャンパー着用をお願いします。

・来年度の年次計画書が 6 月 11 日に発表になりますので各委員長さん宜しくお願いします。また翌週の 6 月 18 日は年次報告書の発表を行いますので宜しくお願いします。

### ◎各委員会報告

#### ◇出席委員会 - 佐藤政司小委員長

ロータリーソング 我等の生業

4 つのテスト

荒川 清 会員



本日の出席状況は下記の通りです。

#### ◇スマイルボックス委員会 - 山下小委員長

・歓迎、井坂裕樹君が第 2530 地区としてイリノイ州立大学短期留学が承認されました。

鈴木修一郎会員、鈴木雅之副会長

・2014 - 2015 年度地区研修協議会ご苦勞様でした。富岡、山下、押田、富澤、岩元、小松崎、秋山、小熊、荒川(清)、高田、嵐、赤津(善)、金成、高萩各会員及び生駒会長、川口会長エレクト、渡邊國和幹事、鈴木副幹事

・前回休んでごめんなさい。鈴木泰行、鈴木孝一各会員

#### ◇親睦活動委員会 - 富澤小委員長

4 月 13 日に行われた親睦会の決算について簡単にご報告を致します。4 月 13 日場所赤城南面千本桜で行いました。出席会員 22 名、ご家族 10 名の計 32 名の方に参加して戴きました。収支はマイナス 1 万 1000 円で終了することが出来ました。皆さんのご協力ありがとうございました。

#### ◎川口会長エレクトよりお知らせ

皆さん、今日は。5 月 17 日に地区研修協議会が終了し、R I テーマ、第 2530 地区目標が決定致しました。それを受けて年次計画書の作成に入る為に会長方針、クラブ方針が出ないと年次計画書の作成がやりにくいので



ではと思ひ会長方針を各委員長、小委員長さんにお渡ししてあります。これをもとに計画書の作成をお願いしたいと思ひます。少し急いでいるのは 7 月 9 日にガバナー公式訪問を当クラブが受けるのが決定している為です。前日の 8 日が小名浜ロータリークラブで 9 日が当クラブです。7 月に入りましたらすぐ公式訪問になりますのでご協力宜しくお願いします。

### ◎ガバナー事務所近況報告 - 鈴木修一郎幹事



今週の 23、24、25 日に日本青少年交換委員会全国大会がリステル猪苗代で開催予定になっています。約 330 名が参加することになっていて日本青少年委員会で世界各国に高校時代に留学した人達が一堂に会して情報交換することになっています。5 月 28 日からはオーストラリアのシドニーに行く予定になっていて渡邊公平ガバナー御夫妻、鈴木雅之御夫妻、生駒祐健会長御夫妻と私共も夫妻で行くことになります。帰って来るのは 6 月 2 日です。

### ◎ゲスト紹介 - 鈴木修一郎会員

4 月の月信にイリノイ州立大学夏期英語研修生募集ということで一般公募させて戴きました。その中で応募があった井坂裕樹さんを検討した結果第 2530 地区で承認されました。いつから行かれるかというところから 6 月 9 日から 8 月上旬まで約 2 ヶ月間に渡り勉強してこられます。彼の出身は勿来の四沢で 1988 年 3 月 20 日生まれ 26 歳、現在ボックス情報システムさんに所属されていますが、筑波大学大学院生に博士課程の学生でもあります。勤勞しながら学校に通っている素晴らしい学生さんです。また、ロータリーの事務局として立ち上げの時から地区大会の受付、委員会の会議等でお手伝いして戴いているので顔を知っている会員も多いと思ひます。

### ◎ゲスト挨拶

ボックス情報システム株式会社

井坂 裕樹 様



只今ご紹介を戴きましたボックス情報システム(株)の井坂と申します。この度 6 月 9 日から 8 月 9 日までイリノイ州立大学短期語学留学が決まりました。昨年弊社代表である鈴木事務局長のもとでガバナー事務所のお手伝いをさせて戴きました。皆様が真剣に奉仕活動に取り組む様子に感銘を受け私自身の励みになっています。留学に対し地区のご尽力には大変感謝申し上げます。先日合格の

連絡を頂戴し、今から待ち切れない程楽しみです。帰国後にはこちらにご報告に伺いたいと思ひますので宜しくお願い致します。皆様のご協力に感謝申し上げます。

### ◎会員卓話 - 鈴木孝一会員



皆さん、今日は。株式会社クレハいわき事業所総務の鈴木です。4 月に入会させて戴きました。本日は卓話ということで仕事の話をしたと思ひます。お配りした資料をご覧ください。いわき事業所は 1944 年この地に誕生致しました。今年 70 周年を迎えますがこれまで地域の皆様と共存共栄の考えのもとに成長させて戴きました。その中でも地域との共生が最も大事な取り組みであると考えています。そこでいわき事業所のレスポンス・ケアについてご説明致します。パソコン、自動車、ラップ、フィルム、医薬品等私達の身近にある製品にはさまざまな化学物質が使われています。これらの化学物質については私達の生活を便利にし豊かにすることに役立っています。一方で化学物質の使い方を誤りますと人の健康や自然環境に影響を及ぼす可能性があります。そこで適切な管理をすることが大切です。レスポンス・ケア活動とは化学物質を扱っているそれぞれの企業において化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費をへて廃棄・リサイクルに至るまでの全ての過程において自主的に環境、安全、健康を確保し活動の成果を公表して社会との対話、コミュニケーションを行う活動と日本では定義されています。

いわき事業所では、1995 年よりレスポンス・ケア活動の取り組みを開始致しました。化学物質のリスクコミュニケーションについては、化学物質の管理を適正に行っていくためその化学物質に関する全ての人(事業所、行政、地域住民等)と化学物質のリスクに関する情報を共有する必要があります。そのために行われる対話がリスクコミュニケーションです。コミュニケーションを通じて、より具体的な対策に結びつけ、化学物質による環境負荷の低減を図ることができます。

出席状況	正会員数 本日の出席率	50 名 75.08%	本日出席会員数 修正出席率	35 名 91.30%
------	----------------	----------------	------------------	----------------